

2026年度

授 業 内 容 (シラバス)

学校法人 長岡総合学園

長岡美容専門学校

— 目次 —

〈必修課目〉

関係法規・制度		1
衛生管理		2
保健		5
香粧品化学		8
文化論		10
美容技術理論		12
運営管理		16
美容実習		17

〈選択課目〉

社会福祉		21
美容接遇論		22
パーソナルカラー		23
着付		24
メイクアップ		25
ネイル		27
美容総合技術		31

課目名

関係法規・制度

科目名

関係法規・制度 I

〈必修〉 2年 前期

単位	時間数	コマ数
1	30	15

担当教員： 大野 信也

《到達目標》

(実務経験) 10年以上

美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。

《授業方法》

講義

《授業内容》

コマ数	授業項目	学習内容
1	法制度の概要	・法の役割 法の形式
2	衛生法規の概要	・法の役割 ・法の形式衛生法規の意義分類 ・美容師法と付属法令
3	衛生行政の概要	・衛生行政の意義と歴史 ・衛生行政の分類
4	衛生行政機関	・生活衛生行政 ・行政のしくみ ・保健所の役割と機構
5	美容師法	・美容師法の目的 ・用語の定義
6～8	美容師に関する規定	・養成施設 ・試験 ・免許 ・登録 ・義務 ・業務停止 ・管理美容師
9～10	美容所に関する規定	・美容所の開設 ・美容所開設者が講ずべき衛生措置 ・美容所以外での業務
11	立ち入り検査	・立ち入り検査と環境衛生監視員
12	行政処分	・違反者に対する行政処分 ・行政処分手続き ・行政不服審査請求
13	罰則	・罰則について ・美容師法の罰則
14	関係法規	・美容業運営に関する法律 ・美容業管理に関する法律 ・美容業顧客に関する法律
15	まとめ 終講試験	・関係法規・制度のまとめ

《使用教科書・教材並びに参考図書》

(日本理容美容教育センター出版)関係法規・制度、美容師関係法令集

(補助教材)PowerPoint

《成績評価・方法》

終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施

(成績評価基準) A: 100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59点以下

課目名		衛生管理		〈必修〉1年 後期		
科目名		衛生管理Ⅰ		単位	時間数	コマ数
				1	30	15
				担当： 浅田 千加子		
《到達目標》				(実務経験) 10年以上		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。						
《授業方法》						
講義						
《授業内容》						
コマ数	授業項目		学習内容			
1～14	1編 公衆衛生					
	1章 公衆衛生の概要					
	1公衆衛生の意義と課題					
	2公衆衛生発展の歴史		・欧米の公衆衛生の歩み ・我が国の公衆衛生の歩み			
			・消毒法の歴史			
	3理容師・美容師と公衆衛生		・歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生			
			・公衆衛生と理容師・美容師			
	4保健所と理容業・美容業					
	2章 保健					
	1保健		・母子保健 ・成人、高齢者保健			
			・精神保健			
	2編 環境衛生					
	1章 環境衛生					
	1環境衛生の概要		・環境衛生の内容 ・環境衛生の目的と意義 ・環境衛生活動			
	2空気環境		・空気と健康 ・温熱環境と健康			
	3衣服・住居の衛生		・衣服の衛生 ・住居の衛生			
	4上・下水道と廃棄物		・上水道 ・下水道 ・廃棄物			
	5衛生害虫とネズミ		・衛生害虫 ・ネズミ			
	6環境保全		・水質汚濁			
15	終講試験					
《使用教科書・教材並びに参考図書》						
(日本理容美容教育センター出版)衛生管理						
(補助教材)PowerPoint						
《成績評価・方法》						
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施						
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下						

課目名		衛生管理		〈必修〉 2年 後期		
科目名		衛生管理Ⅲ		単位	時間数	コマ数
				1	30	15
				担当： 浅田 千加子		
《到達目標》				（実務経験） 10年以上		
規則で規定された「美容業務における消毒法」を学び、各種消毒法を的確に実施できる知識を得ることができる。						
《授業方法》						
講義						
《授業内容》						
コマ数		授業項目		学習内容		
1～14	4編 衛生管理技術					
	1章 消毒法総論					
	1	消毒とは	・病原微生物と非病原微生物 ・消毒の原理			
	2	消毒の意義	・汚染、感染、発病と消毒の意義			
			・殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義			
	3	理容・美容の業務と消毒の関係	・消毒に関連のある法の規定			
	4	消毒法と適用上の注意	・消毒を怠った場合の危険性と理容師・美容師の責任			
			・消毒法の種類 ・消毒（殺菌）に必要な条件			
			・病原微生物の抵抗力			
			・消毒薬、消毒薬使用液の使用、保存上の注意			
	2章 消毒法各論					
	1	理学的消毒法（殺菌法）	・紫外線消毒 ・煮沸消毒 ・蒸気（大気圧下の蒸気）消毒			
			・その他の理学的消毒法			
	2	化学的消毒法（殺菌法）	・アルコール類、次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒 ・その他の消毒			
	3	すぐれた消毒法とその実施上の注意	・すぐれた消毒法の条件			
			・消毒を行う際の注意事項			
	3章 消毒法実習					
	1	各種消毒薬	・消毒薬の概要 ・器具の使い方			
			・常備しておくといふ消毒薬と希釈液の濃度 ・消毒薬希釈法			
	2	理容所・美容所の消毒の実際	・理容所、美容所における消毒の原則			
			・理容所、美容所の消毒設備			
			・理容、美容器具類の消毒法 理容師、美容師の手指の消毒			
			・その他のものの消毒 ・理容所、美容所の消毒の現状			
	3	理容所・美容所の清潔法の実際	・清潔保持と清掃 ・洗剤による清浄法			
			・洗い場の構造と清潔保持 ・清掃			
			・刈り取った毛の処理、ふた付き汚物箱などの消毒			
			・ハエやカなどの駆除			
	5編 衛生管理の実践例					
	1	美容所における衛生管理要領	・衛生的取り扱い等 ・自主的管理体制			
	2	理・美容所の自主管理点検表				
15	終講試験					
《使用教科書・教材並びに参考図書》						
（日本理容美容教育センター出版）衛生管理						
（補助教材）PowerPoint						
《成績評価・方法》						
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施						
（成績評価基準）A：100～80点 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下						

課目名	保健	〈必修〉1年 後期			
科目名	保健Ⅰ	単位	時間数	コマ数	
		1	30	15	
		担当： 浅田 千加子			
《到達目標》		(実務経験) 10年以上			
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。					
《授業方法》					
講義					
《授業内容》					
コマ数	授業項目	学習内容			
1～14	第1編 人体の構造及び機能				
	第1章 頭部、顔部、頸部の	・人体各部の名称			
	体表解剖学	・頭頸部の体表解剖学			
	第2章 骨格器系	・骨の種類と構造 ・骨の連結			
		・骨格器系とそのはたらき			
	第3章 筋系	・筋の種類とその特徴 ・主な骨格筋とそのはたらき			
		・表情筋と表情運動			
	第4章 神経系	・神経系の成り立ち			
		・中枢神経系とそのはたらき ・末梢神経系とそのはたらき			
	第5章 感覚器系	・視覚 ・聴覚 ・平衡感覚			
		・味覚 ・嗅覚 ・皮膚感覚			
	第6章 血液と免疫系	・血液のあらまし			
		・免疫のあらまし ・アレルギー			
	第7章 循環器系	・心臓のあらまし ・血液循環の仕組み			
		・血液の循環経路			
		・リンパ管系の仕組みとはたらき			
	第8章 呼吸器系	・呼吸器系のあらまし ・気道			
		・肺の仕組みとガス交換 ・呼吸運動			
	第9章 消化器系	・消化器系のあらまし ・消化管の仕組み			
		・消化管のはたらき ・消化と物質代謝			
15	終講試験				
《使用教科書・教材並びに参考図書》					
(日本理容美容教育センター出版)保健					
(補助教材)PowerPoint					
《成績評価・方法》					
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施					
(成績評価基準) A: 100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59点以下					

《到達目標》 (實務經驗) 10年以上

《授業方法》

講義

コマ数	授業項目	学習内容
-----	------	------

[illegible]

(日本理容美容教育センター出版)保健

(辅导教材)B

[illegible]

終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施

(成績評價基準) A: 100、90 F、B: 70、70 F、C: 30、30 F、D: 50 F 以下

(成績評価基準) A: 100~80点 B: 79~70点 C: 69~60点 D: 59点以下

《到達目標》 (実務経験) 10年以上

《授業方法》

講義

コマ数	授業項目	学習内容
-----	------	------

[illegible]

(日本理容美容教育センター出版) 保健

（補助材料） SWIFT 5000

終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施

(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下

課目名	香粧品化学	〈必修〉 2年 前期		
科目名	香粧品化学 I	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当： 野村 由紀子		
《到達目標》		(実務経験)		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。				
《授業方法》				
講義				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1～14	第1編 香粧品総論			
	第1章 香粧品総論			
	1 香粧品とは	・身の回りの香粧品、理容・美容の技術と香粧品		
	2 香粧品と造形	・形状・形態・デザインの変更、色味の変更		
	3 香粧品の効果と使用プロセス	・香粧品の基本的な使用プロセス		
	第2章 香粧品を使用する際に			
	気をつけるべきこと			
	1 香粧品の使用による症状	・香粧品はトラブルを起こすもの、化学物質であること等		
	2 香粧品の定義と法規制	・香粧品とは、医薬部外品と化粧品の定義等		
	3 香粧品の安全性と安定性	・香粧品の安全性、香粧品の安定性		
	第2章 香粧品の成り立ち			
	1 香粧品の成り立ち	・香粧品の種類と機能、剤形と処方		
	2 水と親水性溶媒	・物質と溶液、水、アルコール		
	3 油性原料	・油脂、ロウ類、炭化水素、その他の油性原料等		
	4 界面活性剤	・界面活性剤の基本的性質と種類、香粧品への応用		
	5 高分子化合物	・高分子化合物の種類と特性、香粧品への応用		
	6 色材	・色材と香粧品、発色、無機顔料、有機合成色素等		
	7 香料	・香料と香粧品、香料の種類、調合香料		
	8 製品を安定させる配合原料	・防腐剤・殺菌剤、酸化防止剤、金属イオン封鎖剤等		
	9 その他の機能性配合原料	・保湿剤(湿潤剤)、紫外線吸収剤、収れん剤等		
	9 雑貨原料	・合成樹脂、接着剤、塗料		
15	終講試験			
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
(日本理容美容教育センター出版) 香粧品化学				
(補助教材)PowerPoint				
《成績評価・方法》				
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施				
(成績評価基準) A: 100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59点以下				

課目名		香粧品化学		〈必修〉 2年 後期		
科目名		香粧品化学Ⅱ		単位	時間数	コマ数
				1	30	15
				担当： 野村 由紀子		
《到達目標》		(実務経験)				
化学の基本について理解させ薬品の正しい取り扱いをするための化学知識を身につける。						
《授業方法》						
講義形式						
《授業内容》						
コマ数	授業項目		学習内容			
1～14	第2編 香粧品各論					
	第1章 スキンケア製品					
	1 香粧品の効果と使用プロセス		・香粧品の作用と効果、スキンケア製品の役割			
	2 クレンジング用香粧品		・汚れの除去、クレンジング用香粧品の種類とその性質			
	3 コンディショニング用香粧品		・コンディショニング用香粧品の作用等			
	4 トリートメント用香粧品		・トリートメント、機能性化粧水と化粧液、サンケア製品等			
	第2章 メイクアップ製品					
	1 メイクアップ製品の種類と剤形		・メイクアップ製品の基剤・剤形			
	2 ベースメイクアップ香粧品		・おしろい(白粉)類、ファンデーション類			
	3 ポイントメイクアップ香粧品		・頬紅			
	4 アイメイクアップ製品		・アイメイクアップ香粧品			
	5 まつ毛ケア製品		・まつ毛ケア製品			
	6 ネイルメイクアップ製品		・マニキュア製品、アーティフィシャルネイル(人口爪)			
	7 ネイルケア製品		・エナメルのリムーバー			
	第3章 ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品					
	1 ヘアクレンジング用香粧品		・シャンプー料			
	2 ヘアコンディショニング用香粧品		・ヘアリンス料、ヘアトリートメント料			
	3 ヘアスタイリング料		・ヘアスタイリング料の機能、油性ヘアスタイリング料等			
	4 パーマ剤		・パーマの原理、パーマ剤の分類等			
	5 ヘアカラー製品		・ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム等			
	6 スカルプケア製品		・スカルプケア製品、スカルプトリートメント製品			
15	終講試験					
《使用教科書・教材並びに参考図書》						
(日本理容美容教育センター出版) 香粧品化学						
(補助教材) PowerPoint						
《成績評価・方法》						
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施						
(成績評価基準) A: 100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59点以下						

13

課目名	美容技術理論	〈必修〉 2年 前期		
科目名	美容技術理論Ⅲ	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当： 長島亜衣子		
《到達目標》		(実務経験) 5年以上		
美容技術の中でも専門的分野に分別され、各技術に関する基礎知識及び理論を習得し、かつ国家試験に対応できる力を身につけることができる。				
《授業方法》				
講義				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1～14	8章 エステティック	エステティック概論・皮膚の構造・カウンセリング		
		フェイシャルケア技術・ボディケア技術		
		エステティックを施術するにあたり、心得や皮膚の知識、		
		フェイシャルケアの方法		
	9章 ネイル技術	ネイル技術の種類・爪の構造と機能・爪の形状・カウンセリング		
		ネイルケア・アーティフィシャルネイル		
		ネイル技術の種類と技術手順、爪の構造、公衆衛生など		
		施術において必要とする知識		
	10章 メイクアップ	メイクアップ概論・顔の形態学・メイクアップと色彩		
		メイクアップの道具・スキンケア・ベースメイク・ポイントメイク		
		(アイメイク アイブロウ リップ)・まつ毛エクステンション		
		・メイクアップ方法や道具の種類と特徴の理解、目的・印象に		
		合わせたメイクアップ技術		
		・顔の骨格と筋肉、陰影、色彩を理解し、各人・各シーンに		
		合ったメイクアップ		
	15	終講試験		
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
(日本理容美容教育センター出版)美容技術理論Ⅱ				
(補助教材)PowerPoint 小テスト				
《成績評価・方法》				
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施				
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

15

課目名	運営管理	〈必修〉 2年 後期		
科目名	運営管理 I	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当： 日坂 力也		
《到達目標》		(実務経験) 5年以上		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。				
《授業方法》				
講義				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1～6	〈第3編・顧客のために〉			
	第1章 サービス・デザイン	・顧客が求める価値 ・価値の実態 ・顧客満足の実現		
		・最も重要な価値 ・価値の多様性 ・サービスの範囲		
	第2章 マーケティング	・マーケティング ・マーケティングミックス		
		・サービスのシステム化		
	第3章 サービスにおける	・接客についての理解 ・よい接客のために ・接客の実践		
	人の役割	・接客におけるトラブルと対応		
		・接客で発生が予想される問題		
		・問題を深刻化させないための対策・対処		
7～10	〈第2編・人という資源			
	従業員としての視点〉			
	第1章 人という資源	・人という資源とは ・人の能力を高める		
		・人をやる気にさせるために ・給与 ・待遇 福利厚生		
		・労働者の権利		
	第2章 美容業の経営について	・健康管理の基礎 ・美容の仕事と健康 ・美容業の健康課題		
		・美容の作業環境に関する健康問題		
	第3章 従業員の視点から	・社会人、従業員としての責任 ・社会保険		
	・キャリアプランの重要性 ・仕事をするうえで考えるべきこと			
11～14	〈第1編・経営者の視点〉			
	第1章 経営とは・経営者とは	・経営が必要とされる理由		
		・経営が難しい理由＝経営が必要な理由 ・経営とは何か		
		・経営資源と経営計画 ・経営戦略 ・経営戦略が目指すもの		
	第2章 美容業の経営について	・業界の概要 ・競争の変化 ・サービスとしての美容		
		・美容業の顧客について		
	第3章 資金の管理	・資金管理の重要性 ・収支と損益 ・会計の考え方		
		・コストを管理する ・税金について ・税金の申告		
	まとめ			
15	終講試験			
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
(日本理容美容教育センター出版)運営管理				
(補助教材)PowerPoint、プリント				
《成績評価・方法》				
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施				
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

《到達目標》	(實務經驗) 各教員5年以上
--------	----------------

る。

《授業方法》

実習

《授業内容》

[illegible]

《使用教科書・教材並びに参考図書》

(日本理容美容教育センター出版)美容技術理論Ⅰ (日本ヘッドスパ協会・著)ヘッドスパ検定公式テキストブック
(補助教材)PowerPoint プリント

《成績評価・方法》

終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下

課目名	社会福祉	〈選択〉1年 前期		
科目名	社会福祉Ⅰ	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当：相崎 隆一 日坂 力也		
《到達目標》		(実務経験)各教員5年以上		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。				
《授業方法》				
講義				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1	社会の変化と美容師に求められる社会的視点	高齢化・多様化する社会の変化を理解し、美容師に求められる社会的役割や視点について考える。		
2	社会福祉の基本理念と共生社会の理解	社会福祉の基本理念(尊厳・自己決定等)および共生社会の考え方について理解する。□		
3	多様な利用者の理解と美容室の役割	多様な利用者の存在や社会的バリアについて学び、共生社会における美容室の役割を理解する。		
4	高齢者疑似体験:身体機能の変化と日常生活への影響の理解	高齢者疑似体験を通して身体機能の変化や日常生活への影響を体感し、利用者の立場を理解する。		
5	体験の振り返りと尊厳・自己決定の理解	体験を振り返り、尊厳や自己決定の重要性について考察し、支援のあり方を理解する。		
6	車椅子体験①:室内環境における移動と日常動作の理解	車椅子体験(室内)を通して、移動や日常動作における不自由さや環境の影響を理解する。		
7	車椅子体験②:社会環境における移動とバリアの理解	屋外での車椅子体験を通して、段差や設備など社会環境に存在するバリアとその影響を理解する。		
8	美容師の役割と専門性および連携の理解	美容師としての役割や専門性を整理し、利用者の状況に応じて他職種と連携する重要性について理解する。		
9	出張美容に見る社会的ニーズと美容の役割の理解	出張美容の事例等を通して、外出困難な人の生活と美容の役割や社会的意義について理解する。		
10	共生社会における美容師像の考察(まとめ)	授業全体を振り返り、共生社会の中で求められる美容師像について考察し、自らの考えをまとめる。		
11～15	福祉理美容師の基礎	・福祉理美容師の理念 ・福祉理美容師が求められる背景		
	福祉理美容師の仕事と必要なスキル・知識	・福祉理美容師の仕事の理解 ・福祉用具、備品の基礎知識		
	衛生管理と安全対策	・出張理美容の衛生管理要領 ・感染症の種類と対策		
	福祉理美容師の実際	・サロンにおける福祉理美容		
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
日本医療企画 介護の基本テキスト はじめて学ぶ介護【第2版】全日本福祉理美容協会 テキスト (補助教材)PowerPoint プリント DVD				
《評価方法》				
レポート提出および検定試験の結果を総合的に評価する。合計60点以上を合格とし、59点以下の場合は再試験を実施する。 (成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

課目名	美容接遇論	〈選択〉1年 前期		
科目名	美容接遇論Ⅰ	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当:帆苅千恵 風間理江		
《到達目標》		(実務経験)各教員5年以上		
美容業界で求められる基本的な接遇力の土台として、一般常識・社会的倫理・マナーを理解し、実践できる力を身につける。				
《授業方法》				
講義 演習				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1	オリエンテーション／接遇とは何か	美容業における接遇の意味		
		「感じのいい人ってどんな人？」を言語化		
2	美容業における接遇の価値	技術だけでは選ばれない理由		
		「また来たいと思う美容師の共通点」を考える		
3	社会人としての基本①(時間・約束)	遅刻・期限・信頼の関係		
		「時間を守らない人に任せたいか？」を考える		
4	社会人としての基本②(報連相)	伝える力と信頼関係		
		「言わなかったことで起こるトラブル」を想像		
5	第一印象と身だしなみ	見た目が与える影響		
		「どんな人に担当してほしいか」を具体化		
6	挨拶・表情・姿勢	非言語コミュニケーション		
		同じ言葉でも印象が変わる体験ワーク		
7	言葉遣い①(敬語の基本)	尊敬語・謙譲語		
		「間違った敬語でどう感じるか」を考える		
8	言葉遣い②(美容現場での会話)	カウンセリング時の言葉		
		「安心できる言い方・不安になる言い方」を比較		
9	聞く力・伝える力	傾聴・共感		
		「話を聞いてもらえない時の気持ち」を体験		
10	一般常識①(社会のルール)	公共マナー・生活常識		
		「知らないと恥をかく場面」を共有		
11	一般常識②(冠婚葬祭・場面マナー)	場に応じた振る舞い		
		「美容師として関わる場面」を想像		
12	社会的倫理①(責任・信頼)	プロ意識		
		「信頼を失う行動とは何か」を考える		
13	社会的倫理②(SNS・情報モラル)	個人情報・発信の影響		
		「軽い投稿が招くリスク」を具体例で考える		
14	接客の基本動作(実践)	案内・お辞儀・立ち居振る舞い		
		ロールプレイ+“お客様役の感想フィードバック”		
15	総合演習・振り返り	一連の接客の流れ		
		「自分が選ばれる理由」を言語化		
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
(補助教材)PowerPoint プリント				
《成績評価・方法》				
出席率 100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施				
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

課目名	美容接遇論	〈選択〉2年 前期		
科目名	美容接遇論Ⅱ	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当： 風間 理江		
《到達目標》		《実務経験》 5年以上		
美容サロンにおける新しい役割であるビューティ・コーディネーターの役割を理解し、機能としての必要性を学ぶ。美容技術以外で備えなければならないスキルを理解し、ビューティ・ビジネス実務検定取得を目指す				
《授業方法》				
講義 演習				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1～14	美容業におけるビジネスキャリア	美容業で働くことについて		
	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	ホスピタリティとは 接客に必要なホスピタリティ		
	サロン内のコミュニケーション	コミュニケーションの重要性 就業中の基本マナー		
	接客の基本と電話の受け方・かけ方	話の聴き方 言葉づかい 電話応対		
	サロンのメディア活用	ITの活用(SNS Web の活用)		
	トータルビューティの仕事とビューティ・コーディネーター	ビューティ・コーディネーターの役割と必要なスキル		
	生産性を高めるサロンオペレーション	顧客管理 フロアマネジメント		
	「美意識」をコーディネートする	トレンドの理解とアドバイス		
	ファッションを理解する	ファッションの歴史 美容トレンド		
	美容基礎理論	毛髪理論 頭皮科学		
		色の基礎知識 パーソナルカラー 顔型とヘアスタイル		
	トータルビューティメニュー	メイク エステティック ネイル アイラッシュ・アイブロウ		
		検定対策	模擬試験など	
15	ビューティ・ビジネス実務検定			
《使用教科書・教材並びに参考図書》				
(NPO法人日本ビューティ・コーディネーター協会出版)ビューティ・ビジネス実務検定 認定テキスト				
(補助教材)PowerPoint プリント				
《成績評価・方法》				
授業内小テストおよび検定試験の結果を総合的に評価。 100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施				
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

課目名	パーソナルカラー	〈選択〉1年 前期		
科目名	パーソナルカラーⅠ	単位	時間数	コマ数
		1	30	15
		担当：高居 はるか		
《到達目標》		(実務経験) 10年以上		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。				
《授業方法》				
講義・実習				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1	パーソナルカラーについて	・検定について		
	色の属性①	・パーソナルカラーを体験する		
		・色の成り立ちについて		
2	色の属性②	・色の属性について		
		・色彩、明度、彩度		
		・共通心理と個別心理		
3	色の属性③	・色の属性について		
		・清濁		
		・属性とパーソナルカラーについて		
4	フォーシーズンについて	・フォーシーズンと属性について		
	色の見分け①	・各シーズンごとの明度彩度確認ワーク		
5	色を見るための条件①	・色を見るために必要な3つの条件		
		・光・物体・目		
6	色を見るための条件②	・光・物体・目とパーソナルカラー		
	色彩の心理効果	・色彩の心理効果		
7	色の見分け②	・属性の比較		
	色の絶対値と相対的			
8	配色①	・配色について		
		・色相とトーンから考える		
		・同一・類似・対象		
9	配色②	・配色について		
	色の見分け③	・ドミナント、グラデーション、		
		アクセントカラー、セパレーションカラー		
10	色の見分け④	・色を見分ける練習ワーク		
		・文章を読んで配色するワーク		
11	まとめ	・全体のまとめ		
12	検定直前対策①	・ワーク、模擬試験、過去問など		
13	終講試験			
14	検定直前対策②	・解説、ワーク、過去問など		
15	検定試験	・色彩技能パーソナルカラー検定® モジュール1		
《教科書・教材並びに参考図書》				
(NPO法人日本パーソナルカラー協会監修)色彩技能パーソナルカラー検定®モジュール1公式テキスト モジュール1配色ワークブック (補助教材) パーソナルカラー配色カード PCCS199a配色カード				
《評価方法》				
終講試験 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施 (成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下				

課目名		着付		〈選択〉1年 前期		
科目名		着付Ⅰ		単位	時間数	コマ数
				2	60	30
				担当： 山野流着装		
《到達目標》				（実務経験）		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。						
《授業方法》						
実習						
《授業内容》						
コマ数	授業項目		学習内容			
1～4	着物の知識及び礼儀作法		・和装にまつわる知識とともに、挨拶からお辞儀の仕方など			
	体型補整・たたみ方		礼儀作法を学ぶ			
	浴衣着付け		・着付けすべての準備として体型補整のやり方			
			・身近な着物、浴衣の着付け実習			
5～12	小紋着付け		・半襟のとじかた			
			・小紋着付けと名古屋帯での帯結び			
13～20	既婚女性の第一礼装である		・留袖の着付け実習			
	留袖着付けと二重太鼓		・袋帯での二重太鼓			
			・袋帯の種類			
			・ご挨拶やお辞儀の仕方、車の乗り降り等の立ち振る舞い			
21～30	未婚女性の第一礼装である		・マナー			
	振袖着付けと二枚扇お太鼓系		・伊達衿の付け方や着付けに付随した小物の準備の仕方			
	帯結び		・体型に合わせた着付け			
			・振袖の着付け実習			
			・袋帯での二枚扇お太鼓系			
			・帯揚げ等の装飾の仕方			
	初中伝総仕上げ及び査定		・留袖により、時間内にきれいに仕上げられるかの確認			
			(校内コンテストを兼ねる)			

課目名		メイクアップ		〈選択〉 1年 前期		
科目名		メイクアップ I		単位	時間数	コマ数
				2	60	30
				担当: 樋口 奈美		
《到達目標》		(実務経験) 10年以上				
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。						
《授業方法》						
実習						
《授業内容》						
コマ数	授業項目		学習内容			
1～4	メイクアップ開始前の基礎知識		・皮膚概論			
			・メイクアップの目的			
			・骨格分析			
			・心得			
			・姿勢			
			・肌トラブル			
5～28	スキンケアと骨格の確認		・スキンケアの重要性 基本の3ステップ			
			・手順の確認			
			・肌の状態の変化			
			・骨格確認			
			・人に触れる			
	ベーシックメイクの習得		・ベースコントロールからベースメイクの			
			基本テクニック			
			・ベースメイクの重要性の理解			
	スキンケア～ベース		・ポイントメイク(形・ライン・グラデーション)			
	～ポイントメイクのフルメイク		・部位(眉・目・口・頬)のポイントレッスン			
	時間を意識してのフルメイク		・完成度			
			時間・姿勢・出来上がりのきれいさ			
	ベーシックメイクの習得と 認定資格取得		・メイクアップ基本テクニック			
		・ケサランパサラン メイクアップ検定 資格の取得				
29.30	終講試験					
	(ケサランパサラン メイクアップ検定					
《教科書・教材並びに参考図書》						
(ケサランパサラン株式会社)メイクアップテキスト メイクアップキット						
(補助教材)プリント						
《成績評価・方法》						
ケサランパサラン メイクアップ検定(終講試験) 試験において100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施						
(成績評価基準) A:100～80点 B:79～70点 C:69～60点 D:59点以下						

《到達目標》

《授業方法》

講義 実習

《授業内容》

コマ数	授業項目	学習内容
1～15	《Main Lesson》	
	(実技)	・基本キットを使いネイルケアからカラーリングまで
	ネイルケア～カラーリング	(相モデル実習)
	までの技術	正しい手順を覚え、安全な施術が提供できるよう身に付ける
		ネイリスト技能検定3級合格レベルの技術を目指す
	ネイルアート	・ポリッシュアート
		・フラットアート
		・エンボスアート
		・3Dアート
		各ネイルアートの技術を身に付ける
	チップ作製	・アートの基本から学びアートチップ作品づくり
	ネイルアートの技術をもとに、テーマに沿った作品づくり	
	終講試験	

JNECネイリスト技能検定試験 3級

《使用教科書・教材並びに参考図書》

《成績評価・方法》

作品(ネイルチップ)提出 100点満点中、60点以上合格 59点以下は再試験を実施

(成績評価基準) A:100~80点 B:79~70点 C:69~60点 D:59点以下

課目名	美容総合技術	〈選択〉 2年 前期		
科目名	美容総合技術Ⅲ	単位	時間数	コマ数
		2	60	30
《到達目標》		担当： 長島亜衣子 風間理江 (実務経験) 各教員5年以上		
美容業に関する法規・制度を学習することにより、美容師の仕事が法制度によって、社会に位置づけられていること(重要性等)を把握する。				
《授業方法》				
講義 実習				
《授業内容》				
コマ数	授業項目	学習内容		
1～30	総合的学習			
	(技術科目)			
	カット&スタイリング	サロンスタイル(ショート・ミディアム・メンズ)のカット&スタイリングを学ぶ		
	デザインパーマ	サロンスタイルのカット&コールドパーマを行い、パーマスタイルの方法を学ぶ		
	ヘアカラー	デザインカラーの実践(薬剤選定～仕上げ)		
	ヘアアレンジ	サロンスタイル(アイロン技術、編み込みなど)を作成		
	ヘアメイク	アイロン技術、スタイリング技術、メイク技術を学ぶ		
	アップスタイル	シーンに合わせたアップスタイル		
	ネイル	3D、ジェルネイルでのデザインなどを学ぶ		
	エステティック	フェイシャル・デコルテ・ボディ エステ		
	アイラッシュ	まつ毛エクステンションの知識と基礎技術		
	クリエイティブデザイン	デザインの考え方、撮影の基礎手順・技術・知識		
	(教養科目)			
	フィットネス	軽運動により心身ともに健康でいる大切さを体感する		
	ヨガ	健康増進、精神安定、回復能力などを体感する		
	陶芸	物作りを通し、自分のイメージを形にする自己表現		
	フォトタッチ	WebやSNSに写真を載せるために必要な基礎技術・知識		
</				

